

港南区 はっちの孫育て講座 報告

日 時：2015年2月25日(水)10:00~12:00

会 場：港南区地域子育て支援拠点はっち 研修室

講 師：棒田明子氏（NPO 法人孫育て・ニッポン理事長）

対 象：孫のいる方・これから孫を迎える方・地域の子育て支援に関心のある方

参加者：24名

はっちの孫育て講座は、「知っておきたい今どきの子育て！お孫さんとの時間を楽しむコツ」と題しておこないました。

講師の自己紹介のあと、はじめにお孫さんの年齢や人数について挙手をしてもらいました。1か月後のお孫さんの誕生を心待ちにしている方から、成人されたお孫さんをお持ちの方まで、人数も0~4人の方まで様々でした。

続いて、お隣または前後の方とお住まいの地域やお孫さんの年齢・性別と人数、ご自身の出身地や子どもの頃によく遊んだ遊びのことなど自己紹介し合い、話しが弾み、場の雰囲気もとても和みました。数人の方からのインタビューで子どもの頃に遊んでいた場所や遊び方、だれと遊んでいたのか、その時の親の目はどうだったのかなどを聞き取り、今の子どもたちの置かれている育ちの環境と祖父母世代の育ってきた環境との違いを知りました。

また、○×方式で答える「今どきの子育て・孫育てクイズ」では、「泣いたらすぐに抱っこする」「お風呂上りなどに白湯は飲ませない」「果汁も与えない」など昔と今の違いにもびっくりしました。

祖父母と親の役割の違いは、親は「子育ての方針を決め、子育ての責任者」であり、祖父母は、「孫・親のサポーター・心のオアシス」であること、そして孫育ては、無理をしない、体力とお金には余裕を持って、頑張り過ぎないことが大切という話もされました。

現在の少子化・核家族化の中、子どもたちが大人になるまでに会える人の数が減少していることに触れ、祖父母世代が他人の子どもや他人の孫に関わりを持つこと「他孫（たまご）」育てをすることで、子どもの育ちに大切な、親以外の人と関わる経験や褒められる機会をたくさん体験することができるのでご近所で声をかけてあげてください、と締めくくられました。

参加者からは、「とても参考になりました！！孫とたくさん関わっていきたいと思います」「孫育ては命のバトン！しっかりとバトンを渡したいと思います」などの感想もいただきました。

